

# 大学共同利用機関法人自然科学研究機構

## 平成 26 事業年度財務諸表の概要

自然科学研究機構は、平成 16 年度に法人化し、大学共同利用機関法人として国内外の研究者に対し共同利用・共同研究の場を提供するとともに、自然科学の最先端の研究や関連分野の研究を発展させるための活動を行っています。

本機構における平成 26 事業年度財務諸表の概要は、次のようになっています。

### <貸借対照表>

本機構の財政状態を明らかにするため、基準日（平成 27 年 3 月 31 日）におけるすべての資産、負債及び純資産を記載しています。

(単位:百万円、%)

区分	平成25年度	平成26年度	対前年度 増△減額	増減率	区分	平成25年度	平成26年度	対前年度 増△減額	増減率
	A	B	B-A	(B-A)/A		A	B	B-A	(B-A)/A
<b>資産の部</b>					<b>負債の部</b>				
有形固定資産	111,618	107,545	△ 4,073	△ 3.6	資産見返負債	38,064	35,673	△ 2,390	△ 6.2
土地	28,839	28,839	0	0.0	引当金	-	-	-	-
建物	35,080	33,387	△ 1,693	△ 4.8	資産除去債務	587	600	12	2.0
構築物	954	981	26	2.7	長期未払金	2,873	1,643	△ 1,230	△ 42.8
工具器具備品	40,370	35,614	△ 4,755	△ 11.7	固定負債合計	41,526	37,916	△ 3,609	△ 8.6
建設仮勘定	3,641	5,965	2,324	63.8	運営費交付金債務	1,441	1,409	△ 31	△ 2.1
その他	2,731	2,756	24	0.9	寄附金債務	812	828	16	2.0
無形固定資産	4,694	4,525	△ 168	△ 3.5	前受金等	285	342	57	20.1
投資その他の資産	52	52	0	△ 1.3	預り科学研究費補助金	416	368	△ 47	△ 11.5
固定資産合計	116,365	112,123	△ 4,242	△ 3.6	未払金	11,851	9,600	△ 2,250	△ 18.9
現金及び預金	12,994	10,891	△ 2,102	△ 16.1	その他	111	113	2	1.9
未収入金	49	28	△ 21	△ 42.7	流動負債合計	14,918	12,663	△ 2,254	△ 15.1
たな卸資産	423	509	85	20.2	負債合計	56,444	50,580	△ 5,863	△ 10.3
前払費用	335	841	505	150.6	<b>純資産の部</b>				
その他	7	0	△ 7	△ 94.1	資本金(政府出資金)	75,038	75,038	0	0.0
流動資産合計	13,810	12,270	△ 1,539	△ 11.1	資本剰余金	△ 1,959	△ 1,755	204	△ 10.4
資産合計	130,176	124,393	△ 5,782	△ 4.4	利益剰余金	653	530	△ 122	△ 18.8
					重点研究推進積立金	437	368	△ 69	△ 15.8
					積立金	21	215	194	901.5
					当期未処分利益	194	△ 53	△ 247	△ 127.6
					純資産合計	73,731	73,813	81	0.1
					負債純資産合計	130,176	124,393	△ 5,782	△ 4.4

(※端数整理のため合計は一致しません)

### ◆ 資産

資産総額は約 1,243 億円で、前年度に比べ約 57 億円減少（4.4%減）しました。これは、超高磁場（7 テスラ）ヒト用磁気共鳴断層画像解析装置を用いた超高解像度脳情報画像化システムの取得などにより約 31 億円増加した一方で、設備等の減価償却により 79 億円減少したことなどによるものです。

### ◆ 負債

負債総額は約 505 億円で、前年度に比べ約 58 億円減少（10.3%減）しました。

これは、減価償却等により資産見返負債が約 23 億円、取引業者等への期末未払金の減少などにより未払金が約 22 億円それぞれ減少したことなどによるものです。

#### ◆ 純資産

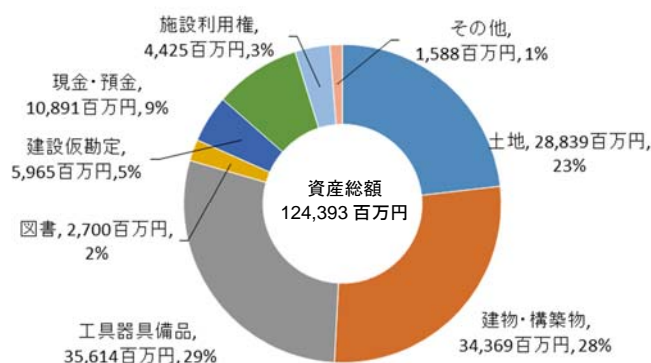
純資産総額は約 738 億円で、前年度に比べ約 1 億円増加（0.1%増）しました。

これは、資本剰余金が、中性粒子入射加熱装置 4 号機（高圧直流電源）の取得等により増加した一方で、損益外減価償却等により減少し、総じて約 1 億円増加したことなどが理由に挙げられます。

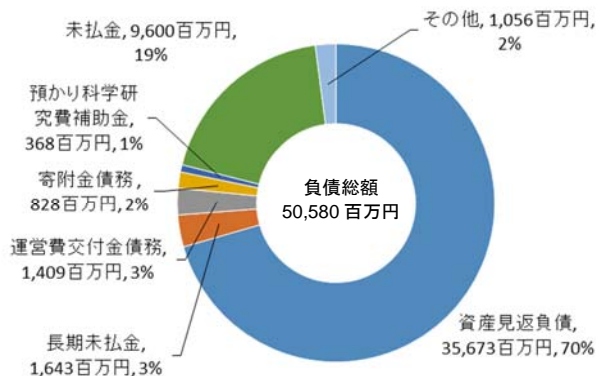
（「純資産」は国立大学法人会計基準等の改正により、平成 19 年度から従来の「資本」から名称変更したものです。）

#### ◆ 資産・負債の構成内訳

##### 【資産の部】



##### 【負債の部】



#### <損益計算書>

本機構の運営状況を明らかにするため、一会計期間（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）におけるすべての費用と収益を記載しています。

#### ◆ 経常費用

(単位: 百万円、%)									
区分	平成25年度	平成26年度	対前年度 増△減額	増減率	区分	平成25年度	平成26年度	対前年度 増△減額	増減率
	A	B	B-A	(B-A)/A		A	B	B-A	(B-A)/A
<b>経常費用 a</b>	37,461	39,406	1,944	5.2	<b>経常収益 c</b>	37,649	39,288	1,639	4.4
業務費	35,366	36,965	1,598	4.5	運営費交付金収益	25,146	26,922	1,775	7.1
教育経費	3	4	0	2.3	大学院教育収益	288	269	△ 18	△ 6.6
大学院教育経費	199	174	△ 25	△ 12.8	受託研究等収益	2,185	1,982	△ 202	△ 9.2
研究経費	3,589	3,687	98	2.7	寄附金収益	184	216	32	17.7
共同利用・共同研究経費	17,828	18,227	398	2.2	施設費収益	233	319	85	36.4
教育研究支援経費	2,739	2,865	125	4.6	補助金等収益	449	443	△ 6	△ 1.4
受託研究費等	2,185	1,973	△ 211	△ 9.7	資産見返負債戻入	8,370	8,431	61	0.7
人件費	8,820	10,033	1,213	13.8	財務収益	3	11	8	215.8
一般管理費	2,020	2,395	375	18.6	雑益	786	690	△ 96	△ 12.2
財務費用・雑損	74	44	△ 29	△ 40.2	<b>経常利益 d=c-a</b>	187	△ 117	△ 305	-
<b>臨時損失 b</b>	107	116	9	8.5	<b>臨時利益 e</b>	107	116	8	7.9
					<b>当期純利益 f=e-b+d</b>	188	△ 117	△ 305	-
					<b>目的積立金取崩額 g</b>	6	64	57	-
					<b>当期総利益 f+g</b>	194	△ 53	△ 247	-

(※端数整理のため合計は一致しません)

経常費用の総額は約 394 億円で、昨年度に比べ約 19 億円増加（5.2%増）しました。これは、退職手当支給額の増加したことなどにより人件費（約 12 億円の増）や建物の修繕などにより一般管理費（約 3 億円の増）がそれぞれ増加したことなどが理由に挙げられます。

#### ◆ 臨時損失

臨時損失の総額は約 1 億円で、主に固定資産の除却（残存価額相当分）を計上しています。

#### ◆ 経常収益

経常収益の総額は約 392 億円で、前年度に比べ約 16 億円増加（4.4%増）しました。

これは、運営費交付金の増などにより運営費交付金収益（約 17 億円の増）などが増加した一方で、受託研究等の受入額の減により受託研究等収益（約 2 億円の減）などが減少したためです。

#### ◆ 臨時利益

臨時利益の総額は約 1 億円で、主に固定資産の除却に伴う資産見返戻入を計上しています。

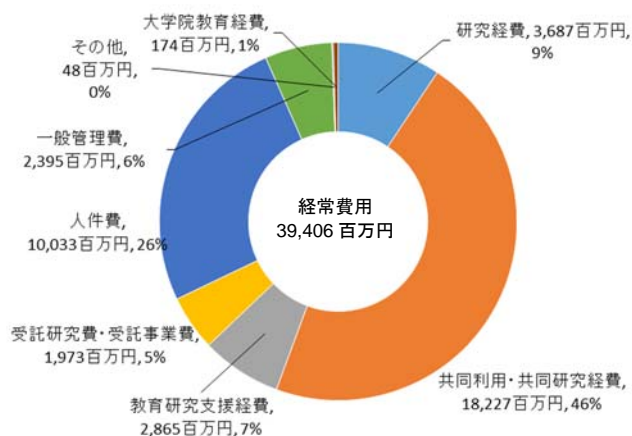
#### ◆ 当期総損失

収益から費用を差し引いた約 0.5 億円が当期総損失となります。

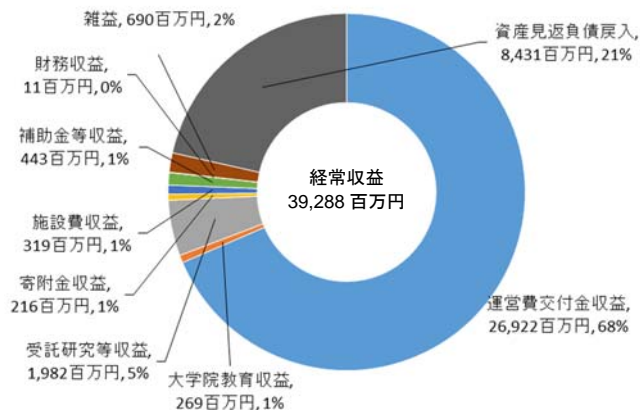
損失を計上するに至った主な理由は、ファイナンスリース取引特有の会計処理による利益などを計上した一方で、国立大学法人会計基準に則り処理した結果発生する資産見返負債の立たない資産の取得及び費用化によるものの差額による損失を計上したことなどが挙げられます。

#### ◆ 経常費用・経常収益の構成内訳

【経常費用】



【経常収益】



(お問合せ先)

自然科学研究機構 事務局財務課財務係

電話 03-5425-2040 FAX 03-5425-2049